

**降誕節第8週 主日礼拝 (幼児祝福式)**

2016年2月14日 第一礼拝(午前8:00~) 第二礼拝(午前10:30~) 夕拝(午後7:30~)

前奏	(新聖歌41)	司会者
招きのみことば	『マルコの福音書』10章13-16節	司会者
※開会の賛美	新聖歌10「天地に勝る」	一同
※信仰告白	「使徒信条」(新聖歌p.826)	一同
代表祈禱		司会者
感謝の賛美	新聖歌505「主われを愛す」	一同
証し		猪爪 和美姉
聖書朗読	『詩篇』127篇(旧約1038頁)	司式者
祝福の辞		司式者
メッセージ	「主がおられるから頑張れる」	近 伸之牧師
祈禱		一同・司式者
※応答の賛美	新聖歌337「愛する主よ わが君よ」	一同
感謝の献金	(新聖歌58)	一同
感謝祈禱		高橋 尚靖兄
諸案内	(来信および集会案内)	司会者
諸報告	(来会者紹介および報告)	近 伸之牧師
※頌栄の賛美	新聖歌63「父御子御霊の」	一同
※派遣の賛美	新聖歌54「主の祈り」	一同
※祝福の祈り		近 伸之牧師
※後奏	(新聖歌59-7)	

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立お願いします)

司会：片山 健司兄 映像・音響・録音：片山 浩司兄 CS担当：近 伸之牧師

集会：小山 千春姉 説教の録画：山崎 敬典兄 掃除：小山 千春姉

**個人、団体からの来信**

2016年2月14日

教団定期便/聖ヶ丘より春キャンプの案内/PBAよりDVD/  
新潟聖書学院より、2015年度卒業式・修了式のご案内[3/7(月)午後1時30分]/  
訃報：同盟教団引退教師の山室裕英先生が2/12に召天されました。ご葬儀は2/20に営まれます。

**先週の集会出席者数**

2/7(日)	教会学校	幼児男子- 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児- 成人男性- 幼児女子2 小学女子2 中学女子- 高校女子- 女児4 成人女性2
2/7(日)	第一礼拝	男3 女3 計6
	聖餐礼拝	男11 女17 計28
	(子ども)	男児- 女児4
※夕拝は講演会に合流。男3名、女1名参加		2/12(金) しゃべり場タビタ 男- 女3 子-
2/11(木・祝)	温泉ツアー	男6 女9 子4
		2/12(金) 金曜祈禱会 男- 女4

**諸集会のご案内**

		※月に一回、実用書道教室を開催	
2/15(月)	午後8:00	月曜家庭集会	山崎岩雄兄宅
2/17(水)	午後7:30	学院のための祈禱会	教会堂
2/19(金)	午前9:30	しゃべり場タビタ	渡邊智子姉宅
2/19(金)	夜	金曜祈禱会	教会堂

2/21(日) 降誕節第9週			
第一礼拝 午前8:00	司会：近 伸之牧師 説教	献金 音響：片山 勝三兄	
教会学校 午前9:00	担当：片山 初子姉		
歓迎礼拝 午前10:30	司会：近 伸之牧師 説教：朴 昌洙(朴)先生 特別賛美：学院生 証詞：星野 恵太兄	映像：近 伸之牧師 音響・賛美リード：賛美チーム 録音：片山 勝三兄 説教の録画：山崎 敬典兄	感謝祈禱：近 ゆかり姉 集会：笹川 清子姉 カナン会：小林 洋子姉 掃除：佐藤 鈴子姉

第1部(「聞け我らの賛美」「宣教の情熱を」「栄光・尊厳・力」)  
第2部(聖書『マタイの福音書』4章12-17節 説教「ミニストリーに踏み出されたイエス様」  
応答：「御手の中で」 頌栄：198 派遣：54)

主日の予定	正午~午後1:00 愛餐会	午後2:00~ カナン訪問
夕拝	午後7:30	司会：近 伸之牧師

**メッセージ概要**

- この詩篇の冒頭にある「家」は家屋(house)ではなく、家庭(home)を表している。「建てる者」(両親)が自分の家庭の主導権を【主】にゆだねるとき、「子どもたちは主の賜物」という告白が確かに生まれる。
- 家族を守るために「自分がしっかりしなければ」と私たちは考える。その努力は否定しないが、その努力に依存してはならない。「主は、その愛する者には、眠っている間に、このように備えてくださる」(2節後半)。
- 私たちの「頑張り」を、見えない所からいつも支えてくださるお方がいる。そして私たちが頑張れない時には、「わたしがそれをしてあげるからいいんだよ」と言ってくれる、この方こそ、私たちの主イエス・キリストである。「すべて疲れた人、重荷を負っている人は来なさい。わたしが休ませてあげます」(マタイ11:28)。

**報告**

- 本日の予定**  
主日礼拝の恵みを感謝いたします。本日は猪爪湧生くんの祝福式を行いました。湧生くんの更なる成長と猪爪家の豊かな祝福を続けて祈りましょう。礼拝後は昼食をいただき、午後は「やさしい教理の学び」のテープを流して学び会を行います。
- 城山温泉ツアーの感謝**  
先週当教会有志にて温泉での交わり会を行いました。求道者や幼児を含めて19名の参加者が与えられました。感謝します。
- 新潟聖書学院の教会訪問**  
次週21日(日)は新潟聖書学院の方々当教会で奉仕実習をしてください。ひとり一人の霊肉と備えが守られ、歓迎礼拝やカナン訪問における奉仕が祝福されるように祈りましょう。

「私の人生は一生浮かばれない」などと言う人がいます。果たしてそうでしょうか。神さまは、水の中に沈んだ斧さえも浮かべることがおできになるお方だという例をご紹介します。

旧約聖書の中に、エリシャという預言者が、仲間と一緒に山へ材木を切り出しに行った時の話があります。仲間の一人が木を切り倒している時、斧の頭を水に落としてしまいました。彼は、「ああ困った。あれは借り物だったんです」と叫びましたので、エリシャが一本の枝を切って、その落とした所へ投げ込みますと、なんと、その斧の頭は浮かんできたというのです。不思議といえば不思議な話ですが、この出来事は、どんなに落ち込んで沈みきっているような人でも大丈夫だということを教えています。

ある人は、「水の中に沈んでしまった斧が浮かぶはずがないじゃないか」と言うかもしれませんが、でも生ける神さまは、それ以上の奇蹟を私たちの生活にしてくださっています。

聖書によりますと、「罪過の中に死んでいたこの私たちをキリストとともに生かし、…とともによみがえらせ、ともに天の所にすわらせてくださいました」(新約聖書『エペソ人への手紙』2章5、6節)とあります。

死んでいた者がよみがえらされて、その身

分を天にまで引き上げてもらえるなどというのは、斧が水に浮かぶというよりも、もっと大きな奇蹟ではないでしょうか。

実際、私たち人間の歩みは、罪の泥沼の中に沈み込んでいるようなものです。そこから浮かび上がらせ、新たな生涯へと歩ませてくださるのが、イエス・キリストの救いなのです。

この記事によりますと、預言者エリシャが一本の枝を切って水の中に投げ込み、その斧を浮かべたとあります。なぜ、わざわざ一本の枝を切って投げ込んでみせたのでしょうか。それは、罪の泥沼に沈み込んでしまっている人間を引き上げるために、一本の枝、すなわち、十字架が必要であることを象徴しているものと思われる。

もし、キリストの十字架、すなわち人間の罪の身代わりの死がなかったら、人間の一生は決して浮かぶことがないでしょう。なぜなら人間の罪は、私たちを浮かび上がらせるには、あまりにも重過ぎるからです。しかし、主は十字架においてこの始末を全部つけてくださり、しかも死よりよみがえられました。その十字架と復活の力によって、どのような奥深いところに沈み込んでしまった者をも、天にまで引き上げてくださることができるのです。



見よ。子どもたちは【主】の賜物、胎の実は報酬である。(詩篇127篇3節)

2015年度教会目標

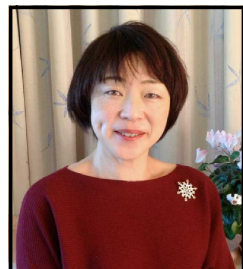
「心から進んで」

年間目標 それぞれに違った賜物が与えられていることを信じ、自ら進んでささげていくひとり一人へ「彼らはそれを進んでささげるささげ物として【主】に持って来た」(出エジプト35:29)

中期目標 5つの地域群(早通・豊栄・新発田・阿賀野・新潟)から、各地域へ福音を伝えていこう「アジアに住む者はみな、ユダヤ人もギリシャ人も主のことばを聞いた」(使徒19:10)

長期目標 県下20市の中で唯一教会のない阿賀野市に向けて、宣教区レベル開拓への斥候として「御名がまだ語られていない所に福音を宣べ伝えることを切に求めた」(ロマ15:20)

毎週土曜日 朝5:30～6:00 BSNテレビにて放送中です。  
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592



2/20(土)「弱さが強さに～ありのままを受け入れて～」  
井上直子さん(写真)

東京都世田谷区にある善隣幼稚園は、1951年にキリスト教会を母体にして始まり、長年地域の人々に愛されています。都心の限られたスペースの中でも、子どもたちが創意工夫しながら、自発性と社会性を身につけることができるような保育を心がけているといえます。園の様子を紹介するとともに園長の井上直子さんにお話を伺います。

Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まる、あなたの伝道。

私たち豊栄キリスト教会は、『ライフ・ライン』の協力教会です。

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区  
豊栄キリスト教会 (牧師 近伸之)

TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155

ホームページ: <http://www.toyosakakyokai.com>

電子メール: [info@toyosakakyokai.com](mailto:info@toyosakakyokai.com)

ブログ: <http://toyosakakyokai.seesaa.net>

